

日本学術会議 機械工学委員会
機械工学企画分科会（第24期・第1回）
議事録

日時：平成30年2月1日（木）10:00-12:00

会場：日本学術会議 5階5-A(2)会議室

参加者（敬称略）：大島 まり，金子 真，厨川 常元，但野 茂，菱田 公一，福山 満由美，藤井 孝藏，吉村 忍，浅間 一（議事録）

配布資料：

資料1：第3部拡大役員会（第1回，第2回）議事要旨

資料2：第23期機械工学委員会からの引継ぎ資料（新井先生作成，一部を抜粋）

1) 役員を選出について（世話役：藤井先生）

機械工学委員会と同一の下記の役員を選出した。

委員長：藤井 孝藏

副委員長：厨川 常元

幹事：菱田 公一，浅間 一

2) 各分科会の現状報告

○ロボット学分科会（世話人：金子，報告：金子）

2月8日（木）に第一回分科会を開催予定。

AI，IoTを取り込んだ形での議論を行う。委員リストは提出済み。

○IUTAM分科会（世話人：藤井，報告：菱田）

1月23日（火）に開催し（出席者12名），下記役員が選出された。（委員15名）

委員長：菱田 公一

副委員長：金田行雄（愛知工大）

幹事：前川宏一（東大），亀田正治（農工大）

ICTAM立候補に向けての準備中。国内の理論応用の小委員会設置予定。

メンバーの追加を計画中。

○力学基盤工学分科会（世話人：菱田，報告：菱田）

1月22日（月）に開催し，下記役員が選出された。（委員25名）

委員長：岸本喜久雄（東工大）

副委員長：高田 保之（九大）

幹事：荒木稚子（埼大），山西陽子（九大）

理論応用の講演会とシンポジウムを交互に開催しており、3月5日に第3回シンポジウムと分科会を開催する予定。

○生産科学分科会(世話人：厨川，報告：厨川)

分科会は2月16日に開催予定。(委員16名)

前期議論した，制度，社会実装，生産科学の動向の議論を行う予定

○生体医工学分科会(世話役：但野，報告：但野)

分科会の開催日程調整中。(委員17名)

前期は佐久間先生を特任連携会員としたが，今期は未定。

大型研究提案を出すことを考える。

○その他

(機械工学委員会が主でない分科会)

- ・計算科学シミュレーションと工学設計分科会(世話人：吉村，報告：吉村)

12月7日に開催。

委員長：越塚誠一(東大)

副委員長：吉村忍(東大)

幹事：松尾亜紀子(慶応)，金田千穂子(富士通研)

これまでの議論をさらに発展させ，小委員会も立ち上げる。

- ・工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

報告なし。

(その他の分科会)

各委員から，機能別委員会，課題別委員会，他の分野別委員会，各種分科会などへの参加状況が報告された。

3) 第三部拡大役員会報告(報告：藤井)(資料1)

(11月24日，1月25日分)

部長：大野英男(東北大)(NICT)

副部長：徳田 英幸(NICT)

幹事：高橋桂子(JAMSTEC)，米田雅子(慶応大)

- ・今期，大型研究計画に関するマスタープランを作ることが決まった。今後は，科学者委員会のもとに設置された研究計画・研究資金検討分科会(藤井良一委員長)が作業を進める。前期よりも3か月ほど早いペースとなるので提案に向けた準備も早めに行う必要がある。

- ・ 第三部夏季部会は8月2日～3日開催予定（於東北大）.
 - ・ 「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会設置された.
- 今期は、生活者との対話を重視した議論を進める.
- ・ 理学・工学系学協会連絡協議会開催予定の報告があった.
 - ・ 第三部に対して、提言や報告等に関する査読委員を推薦した.
 - ・ その他については、メールでのメモおよび議事録を参照のこと.

4) 新規分科会の立ち上げについて

前期で指摘された課題の確認を行った（資料2）.

「将来の機械工学のあり方検討分科会(仮)」を設置し、大型研究計画に関するマスタープランへの提案については小委員会を作って、提案を考えることとした. 分科会の世話人は大島まり委員とし、菱田公一委員が補佐することとした. 大型研究提案につなげる.

5) 機械工学委員会の開催について

連携会員も委員として追加し（約80名）、4月～5月9日までを候補とし、第2回委員会を開催する.

学術会議での機械工学委員会の活動等に関して所属会員・連携会員間の情報共有を図るとともに、上記「将来の機械工学のあり方検討分科会(仮)」の設置を審議する.

6) 機械工学シンポジウムへの準備について

大型研究提案を目指し、機械工学全体としての第一回シンポジウムを実施する. 様々な学協会からビジョンに関する話題提供をお願いする. 詳細は次回機械工学員会で議論する.

「機械工学の未来ビジョン」を大島委員が夏前までに検討する.

シンポジウムの企画は、将来の機械工学のあり方検討分科会の設置を待たずに企画分科会が幹事会に提案する.

精密工学会、砥粒加工学会、トライボロジー学会、その他（自動車、燃焼、原子力、航空など）の機械系関連学会にも声をかける.

これに合わせて3回目の機械工学委員会を開催する.

7) その他

今後、メール等での議論を行うため、メールアドレスを共有することを、参加者委員全員が認めた.